

PAEP 2011

～ 超有料になっちゃった ～

やる→やらない→やっぱりやるけどたっぷりカネ取る、と話が二転三転したPAEP2011。気になるファイナルアンサーは「**超**有料で開催」というものでした。今年度もアンコン・オファーの持ち主と条件付きオファーの持ち主とにクラスを分けて開催されるのは前年度と同じですが、「条件付き」の判断法がかなり複雑になりました。ってゆうかあまりに複雑すぎて、この紙上で何もかもコト細かく説明するのは無理であり、ましてや、稀有な例外サンプルにまで言及するのは不可能と判断しました。そこで、苦し紛れに作ったのが下の標準ガイドラインです（あくまで、標準です）。したがって、「私のコースは他のコースより入学基準英語スコアがちょっと高いんだけど、どうなるの？」といった疑問をお持ちの方は別途ユニコンにお問い合わせいただきたいと思います。

4つのブロック

PAEP2011は4つのブロックに分けて開催されます。

①スコアがかなり足りない人→②ちょっと足りない人→アンコンの人（③FE、④HE）の順に始まります。

I. 英語の条件がくっついている人(Conditional Offer Holders)

- FE（ファンデやアクセスなど）の方はPAEPに参加できません（自力でスコアを取ってこいということ）
- HEのオファーを持っていても、あなたの今のスコアが下記に満たなければPAEPには参加できません

PAEP BLOCK 1（第一次PAEP） ● 6月15日(水) ～ 9月9日(金) ● 2400ポンド

入学先コース	あなたの今のスコア	スコアの4バンド内訳
FdA	4.5	問わない
BA	5.0	問わない
MA	5.5	問わない

PAEP BLOCK 2（第二次PAEP） ● 7月27日(水) ～ 9月9日(金) ● 1200ポンド

入学先コース	あなたの今のスコア	スコアの4バンド内訳
FdA	5.0	問わない
	5.5	一つだけ4.0で他は4.5以上
BA	5.5	問わない
	6.0	一つだけ4.5で他は5.0以上
MA	6.0	問わない
	6.5	一つだけ5.0で他は5.5以上

II. 何の条件もついていない人(Unconditional Offer Holders)

●行くも行かないもあなたの自由です。ただし、行けば出席率を死守せねばならないことをお忘れなく。

PAEP SPECIAL (アンコンPAEP) ● 800ポンド

入学先コース	PAEPの実施期間
FE	7月28日 (木) ~ 8月26日 (金)
HE	8月11日 (木) ~ 9月9日 (金)

英語とビザとカネ

- PAEP 内部審査をパスすれば公式テスト (IELTS) スコアが無くても本コースに進める。
- 受講希望者は PAEP 授業料 (オンラインで) と本コース授業料 (ユニコンに) を全額前払いすること。
- 参加者は Tier4 (General)ビザを申請できる。

アンコン参加者 本コース分とまとめて Tier4 が取れる (はず)。

条件付き参加者 まず PAEP 分のみの Tier4 を日本で取得。PAEP 終了時に内部審査をパスしたら、英国国内で本コース分の Tier4 延長申請をする。

- 学寮に申込可。
- 授業料には 250 ポンドの予約手数料が含まれている。
- 支払った後で参加をキャンセルした場合、予約手数料は原則払い戻しなし。

申込方法

- ① PAEP 授業料を以下のサイトから払う : <https://intranet.arts.ac.uk/registry/payments/>
(使用可能なカード… VISA, Visa Debit, Visa Plus, Master, Mastercard Plus, Maestro, SOLO)
- ② ●PAEP 申込書 ●IELTS スコアシート ●PAEP 授業料のオンライン領収書 ●パスポートコピー (現在有効な英国ビザを持っている人はそのコピーも) を International Centre に郵送/FAX/メールのいずれかの方法で送る。

郵送の場合：封筒の宛先は次のように書いてください

Attn: International Centre
University of the Arts London
272 High Holborn
London WC1V 7EY
U.K.

FAX なら +044 (0) 20 7514 7265

Email なら h.powell@arts.ac.uk

コース初日の持ちもの

- オファーレター ● PAEP 授業料のオンライン領収書 ● 本コース授業料の Registry Receipt
- パスポートサイズ写真 1 枚 ● 英語スコアの原本 ● 英語スコアのコピーを 1 枚 ● パスポート
- パスポートの“顔写真ページ”と“ビザ・ページ”のコピーを各 1 枚

基本ルール

- 授業は月～金曜日、午前の部/午後の部に分けて 1 日当たり 4 時間行う。
- 午前の部/午後の部のどちらにクラス分けされるかはコース担当者の一存による。
- どちらのクラスになるのか当日までわからないのだから、PAEP 期間に別の用事を入れないこと。
- 受講前に‘Pre-Sessional Academic English Programme Guidelines’ (PAEP 要綱) を熟読せよ。
- 毎日出席を取る。出席率が 90% を割ると PAEP から除籍する (下記「**休むな**」の項参照)。
- パスワードテスト (Password Test) は PAEP に入るためだけにしか効能がない。本コース進学にはもちろん、他大学の入学にも通用しない。
- 授業が始まり次第、皆に教科書 (30 ポンドくらい) を購入してもらうことになるだろう。

休むな

- アンコン・オファーの持ち主は PAEP 内部審査結果が不合格でも本コースに進学できる。しかし、PAEP 出席率が 90% を割るとビザを取り消されて国外強制退去となるので体だけは学校に運ぶこと。
- PAEP を休んだ日数が 1 ブロックにつき 3 日以下であればセーフ。4 日以上休むことになる場合は医師の証明書を提出しなくてはならない。提出できなければやっぱり強制退去となる。

成績評価方法

PAEP2011 は「①英語力の向上 ②アカデミック・スキルの習得 ③本コースへの準備 ④大学の環境に慣れること」を四本柱に運営される。コースでの課題はこの四本柱をベースに作成される。PAEP 中に出されるすべての課題をパスしなければ、本コースへの入学はできない。成績をつけるのはチューターたち (担任教師) と PAEP のコース・リーダーである。